

## 各領域等の重点目標及び活動

### (1) 教科教育

#### ①重点目標

- ・教科部会等を活用し、「分かる授業」の研究・実践に積極的に取り組み学力向上を目指す。
- ・仲間を大切にし、認め、認め支え合える学習集団づくりをする。
- ・家庭学習の定着に取り組み、自主的な学習態度を育てる。

#### ②具体的な活動

- ・授業の最初に目標を明示する。
- ・小集団を活用し、問題解決に全員参加の授業を目指す。
- ・授業公開を原則とし、授業研究に努める。
- ・数学科、英語科において、T T・少人数指導等を実施する。
- ・自発的な学習態度を育成し、家庭学習の習慣化を図る。

### (2) 道徳教育

#### ①重点目標

- ・集団の中で一人ひとりが大切にされ、仲間と共に考え、行動できる生徒を育てる。
- ・基本的人権を尊重し生徒に内在する可能性の開発と人間性の育成に努める。
- ・21世紀を生き抜く知性と行動力を持ち、心身共に活力ある生徒の育成を図る。

#### ②具体的な活動

- ・相手の立場を理解し、人権を尊重する心を育てる。
- ・望ましい生活習慣を培い、道徳的実践力を養う。

### (3) 人権教育

#### ①重点目標

- ・学校のすべての教育活動を通じて人権教育に取り組む。
- ・部落差別をはじめとする、あらゆる差別についての正しい認識を育てる。
- ・仲間づくりを通して、身のまわりの問題に気づき、差別を見抜く力を養い、差別を克服できる生徒を育てる。
- ・学力の充実と進路の保障を図る。

#### ②具体的な活動

- ・人権教育推進委員会を持ち、研究推進のための立案やまとめをする。
- ・人権学習授業、人権教育の研究に取り組み、年間計画をもとに各学年で取り組む。
- ・人権教育に関する研修会や先進校の視察等を通し、研修を深める。
- ・家庭、地域、関係機関との連携を強化し、連帯の輪を広げていく。
- ・P T A活動の中で人権教育の推進及び啓発を図る。
- ・せんだん子ども会の活動に、市民会館と協力をして全教員が取り組む。

#### (4) 特別支援教育

##### ①目標

- ・特別支援学級及び障がい者への理解を深める。
- ・障がい者差別を無くし、ともに学習や生活をしていく力を育てる。

##### ②具体的な活動

- ・特活、道徳、教科学習および学級や学年、学校行事等の場を通して、目標を達成する。
- ・7・8・9組の生徒たちや障がい者への差別をなくす取り組みをする。
- ・学校行事や学級、学校便りを通して、保護者に障がい者理解を啓発していく。
- ・通常学級の生徒たちとの交流を積極的に計画していく。
- ・7・8・9組だけでなく、病気や学力面で特別な支援の必要な生徒を大切に仲間づくりをしていく。

#### (5) 特別活動

##### ①重点目標

- ・生き方の指導を深めると共に、主体的で創意ある日常生活を送る。
- ・主体的な生徒会活動を通して、思いやりのある福祉（奉仕）活動を実践できる生徒を育てる。
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

##### ②具体的な活動

- ・合唱等の行事の充実・活性化を図る。
- ・地域の人とのふれあい体験の充実を図る。
- ・生徒会活動の充実を図り、生徒の自主的・自発的活動を援助する。

#### (6) 総合的な学習の時間

##### ①重点目標

- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育む。
- ・他の学級の生徒や地域の人と、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

##### ②具体的な活動

- ・キャリア教育の視点で、各学年が学習時間を設定し研究する。
- ・集団体験学習、職場体験学習を“生きる力”育成の一つの土台と位置づけ、工夫した実践をする。
- ・各教科との関連をはかり、課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現の学習過程となるように計画する。

## (7) 生徒指導

### ①重点目標

- ・日常生活の中で、自分もみんなも大切にする生徒を育てる。
- ・集団を通して、集団の一員としての自覚と喜びを知り、困難に立ち向かうことのできる生徒を育てる。
- ・自ら考え論理的に表現できる生徒を育てる。

### ②具体的な活動

- ・「ふれあい生徒指導」を基盤に据えて生徒指導を推進する。ただし、「人間として許されない言動」については、毅然とした厳しい姿勢で指導に当たる。
- ・目的をもった行事づくりをする。（文化的・体育的行事の充実、健康安全教育の推進）
- ・学校生活全般の基盤となす学級づくりを積極的に推進する。
- ・道徳、学活（朝、帰りの学活も含む）については、統一した見解に基づいた指導をする。
- ・生徒会活動の充実を図り、生徒の自主的・自発的活動を援助する。
- ・いじめ等を克服するため、人権尊重の立場に立った取り組みを推進する。
- ・一人ひとりの生徒の考えを大切にし、不登校生徒を出さない学級づくりを進める。

## (8) 進路指導

### ①学年目標

#### <1年>

- ・自分の将来の進路に関心を持ち、進路学習に意欲的に取り組む態度を養う。
- ・基礎的な自己理解の方法や身近な進路情報の学習を通して進路計画の基本的な考えやそれらに対する問題意識を持ち、進んで自己の進路を計画しようとする意欲を養う。

#### <2年>

- ・自分の将来の生き方をいろいろな視野から考えると共に、進路の問題に積極的に取り組み、直面する諸問題を解決していこうとする態度を養う。
- ・自己の理解を深め、進路情報（上級学校や職業について）をより広く深く学習することにより、自己の進路計画をより一層明確なものとすると共に、自らその計画を吟味し実現しようとする態度を養う。

#### <3年>

- ・中学3年間の学習を基盤として、最も適切な進路を選択させ、希望を持って卒業後の第一歩を踏み出すことができる能力と態度を養う。
- ・将来の生活により良く適応し、進歩向上に努めると共に社会的・職業的自己実現を目指す態度や心情を養う。